

令和5年度 事業所における自己評価結果（公表）

児童発達支援センター「ひまわり」

回収 40部 【令和6年3月公表】

| チェック項目 | とても そう | まあ そう | どちら ともい えない | あまり そうで はない | まったく そうで はない | 工夫している点 | 課題や改善すべき点など | |
|---|--|----------|-------------------|-------------------|--------------------|--|---|--|
| | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 環境・体制整備 | ① 指導訓練室等、スペースに対し、利用定員は適切であるか | 9 | 11 | 14 | 5 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・パーティションを利用したり必要な時に物を出したりしてスペースを確保している。 ・クラスによってはせまいクラスもあると思う。 ・椅子の移動などをしながらできるだけスムーズに移動できるようにし、欠席児のものは朝から片付けておいている。 ・会場等を使用し、活動により安全のために適切な人数に分けることがある。 ・机やおもちゃの置き場所を考えて活動スペースを広く取るようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スペースについては適切ではあるものの、子どもたちの状況と活動内容を検討するにあたっては個室が必要になると思う。 ・機械の線やコードの整理。 ・定員で言えば適切だが、個別支援を考えるとパーティションなど上手に使う必要がある。 |
| | ② 職員の配置数は適切であるか(児4人:職員1人) | 14 | 7 | 9 | 8 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・基準に合わせた人数設定であるが、支援に余裕がなくやりくりしている。 ・グループ担当以外が必要に応じてヘルプにはいる。 ・支援に困難がある場合は部分的な手伝いを依頼している。 ・職員の休みのときに、やりくりをしながら調整している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人員が必要な時間に職員の食事も済ませるため、主活動時に交代で休憩をとっている。 ・職員配置について、基準は満たしているものの、毎日通のケースで個別に対応する必要がある場合には、職員の余力の加配配置が必要になる。 ・職員配置は満たしているが、子どもの支援に対し十分に手が足りていない。 |
| | ③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切にされているか | 3 | 18 | 13 | 4 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃステーションが人通りがあるため、プライバシーが守られるようパーティションを使用することがある。 ・パーティションや足型などを使用して、視覚的に物理的に立つ場所や遊ぶスペースなどをわかりやすくしている。 ・子どもたちの目線や高さで情報位置を合わせている。 ・老朽化の部分はあがるが、構造化は工夫しているクラスが多い。 ・本棚等をおいてスペースをわけている。個人マークを決めて椅子や靴箱に貼り、わかりやすくする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化に伴い、あちこちで修繕が必要な箇所が続出し、ガード等で対応している。順次修繕を行っているが修繕箇所が多く対処が追いついていない。 |
| | ④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか | 2 | 12 | 18 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・換気や掃除をし環境整備・危険物の撤去。冷暖房で室温を調節している。物理的な問題もあるが、その都度クラスで相談している。こまめに掃除をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・掃除する時間がなかなか取れないが、簡易掃除用具を購入し手軽に掃除できるようにした。 ・一日5分でも終了後に掃除する習慣化にする。 |
| 業務改善 | ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と設定と振り返り)に広く職員が参画しているか | 7 | 15 | 13 | 5 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議、支援会議を行う。月末に振り返りの会議を設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要なことに関しては職員会議等で共有していく。 |
| | ⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 13 | 14 | 13 | 0 | 0 | | <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り・分析を次年度につなげている。 |
| | ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をおこなうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 15 | 12 | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 8 | 14 | 14 | 0 | 4 | | |
| | ⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 22 | 14 | 4 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修に出る時間を確保できるよう工夫している。毎月の職員研修の時間を確保している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修報告をし全体で共有できるように努める。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 15 | 19 | 5 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・面談にて保護者や子どもから、思いを聞き取っている。5領域全てにおいてバランスよくアセスメントをとっている。 ・面談以外の日も適宜声かけをするようにしている。 | |
| | ⑪ 子どもの適応状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 10 | 12 | 15 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・受診先の医療機関で検査を受けた際の結果を共有している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・存在は知っているが、なかなか落とし込めていない。園内研修等で改めて見直していく。 |
| | ⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか | 8 | 20 | 11 | 0 | 1 | | |
| | ⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 12 | 22 | 6 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・常に職員間で確認している。長期目標、短期目標に加えて月ごとに重点目標を決めて支援をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・常に確認できるようにする。 |
| | ⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 8 | 22 | 8 | 2 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・少しの事でも話し合っよりよい案を考えている。立案がぎりぎりになってしまうことがある為、声をかけあうようにする。 | |
| | ⑮ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか | 7 | 17 | 13 | 3 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・意図的に固定化している部分と挑戦する部分を作っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動・あそびの案を7アイツシ活用していく。 |
| | ⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 12 | 18 | 8 | 2 | 0 | | |
| ⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 14 | 15 | 4 | 6 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担をはっきりさせている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいや環境設定などについて、より意識できるようティールを更に活用していく。 | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|---|---|----|----|----|---|--------------|--|---------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 13 | 17 | 5 | 4 | 1 | ・気づいたこと、気になったことを共有し記録している。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 11 | 23 | 5 | 1 | 0 | ・支援プランから、取り組みまで記録するようにしている。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 17 | 14 | 9 | 0 | 0 | | |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 12 | 17 | 7 | 4 | 0 | | |
| | 22 | 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか | 7 | 22 | 8 | 2 | 1 | ・必要に応じて、積極的に連携するようにしている。 | ・優先すべき事案の整理をできる力をつける。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 10 | 20 | 9 | 1 | 0 | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか | 13 | 18 | 9 | 0 | 0 | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 12 | 15 | 12 | 1 | 0 | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 14 | 13 | 12 | 1 | 0 | ・バトンタッチ、かけはしシートの作成や支援計画の引き継ぎなどを行っている。 | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 10 | 18 | 11 | 0 | 1 | ・児童発達支援事業所連絡会などに参加し、研修や事例検討を行っている。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 15 | 17 | 6 | 1 | 1 | ・交流保育を取り入れている。 | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか | 11 | 7 | 16 | 5 | 1 | | ・参加し得た情報等を職員間で共有していく。 |
| | 30 | 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 14 | 18 | 7 | 1 | 0 | ・バスの乗降の際にも、できるだけ児の様子を伝えている。気になったことを保護者に報告し必要に応じて、面談を行っている。 | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか | 21 | 12 | 6 | 1 | 0 | ・年少保護者には、全員ペアトレを実施している。 | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 12 | 21 | 6 | 1 | 0 | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 19 | 14 | 7 | 0 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 13 | 20 | 7 | 0 | 0 | ・相談の希望があるときには、必要に応じて専門スタッフも参加し、面談を行っている。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 13 | 17 | 7 | 3 | 0 | ・くすの木活動は役員さんの考えに沿って活動をしていただいている。 | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談の申し出があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 15 | 20 | 4 | 1 | 0 | ・迅速に電話などで保護者の思いを聞く機会を作り、必要に応じて面談を行っている。 | |
| 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 17 | 15 | 5 | 1 | 2 | | | |
| 38 | 個人情報の取り扱いに十分注意しているか | 23 | 12 | 4 | 1 | 0 | | | |
| 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 17 | 17 | 6 | 0 | 0 | | | |
| 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 6 | 15 | 15 | 3 | 1 | ・友愛のさと祭りを開催。 | | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 17 | 18 | 5 | 0 | 0 | | ・マニュアルは職員にはひと通り周知しているが、時々振り返り(確認)が必要。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 19 | 12 | 8 | 1 | 0 | | |
| | 43 | 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 22 | 16 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか | 27 | 11 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 23 | 14 | 3 | 0 | 0 | | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 22 | 15 | 2 | 1 | 0 | ・声を掛け合い、常に風通しのよい職員関係に努める。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 22 | 14 | 4 | 0 | 0 | ・常に日々の対応が適切なのか？職員間で話したり検討する機会を設けている。 | |